

第3回 JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社アスター

<http://www.ast-aster.com/>



設立年月日：2010年1月20日

所在地：秋田県横手市平鹿町浅舞字道川北18-3

代表者：本郷 武延(代表取締役)

従業員数：70人

業種：製造分野

事業概要

株式会社アスターの有する積層技術により開発した「アスターコイル」は、これまでにない自由度の高い形状設計を可能とし、モータコイルの大幅な高密度化を実現、モーターの小型化や高出力化に大きく貢献する。今後、世界的に電動化が進む自動車産業をはじめ、航空宇宙産業や発電産業など、幅広い産業での展開が期待されるコアパーツである。また、秋田県内企業として初めてNEDO「戦略的省エネルギー技術革新プログラム」事業に採択された開発事例であり、モーター分野での革新的技術として国内外から広く注目を集めている。

審査評価

株式会社アスターは、独自の積層技術を用いた理想的なモータコイルの形状設計により、従来の1.5倍の高密度化を実現するとともに放熱性にもすぐれた「アスターコイル」を実用化した。これは、モータの高出力化・小型化につながり、車載用モータばかりでなく、航空宇宙、家電、発電など様々な分野への適用により省エネルギー効果や産業競争力の強化が期待される。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第3回 JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社ABEJA

<https://abejainc.com/>



設立年月日：2012年9月10日

所在地：東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル10階

代表者：岡田 陽介(代表取締役社長CEO兼CTO)

従業員数：54人

業種：AI・情報技術分野

事業概要

AIを活用した業務改善サービスを提供している。ABEJA Platform for Retailは人工知能を活用して、データ取得から活用までを自動化する店舗分析プラットフォーム。

審査評価

株式会社ABEJAは、小売業に向けた店舗解析ツールを提供している。AI(ディープラーニング)技術を駆使したビッグデータ解析を実行することを特徴とする。カメラ画像から顧客数・顧客年齢・顧客の店舗内導線の歩き方などを分析、さらには天気・地理情報なども加味したうえで、店舗の業務改善の在り方を提案する。店員の感覚・ノウハウに頼ることなく、科学的なデータに裏打ちされた店舗設計が可能になる。IT専門家のいない中小店舗でも、AI利活用が推進するほか、海外への事業展開も期待される。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第3回 JEITAベンチャー賞 受賞企業



Hmcomm株式会社

<http://hmcom.co.jp/>



設立年月日：2012年7月24日

所在地：東京都港区虎ノ門2-9-14 郵政福祉虎ノ門第一ビル4階

代表者：三本 幸司(代表取締役CEO)

従業員数：21人

業種：AI・情報技術分野

事業概要

国立研究開発法人産業技術総合研究所発のベンチャー企業として、産総研独自の音声処理技術を用いた要素技術の研究／開発、ソリューション／サービスを提供している。主な技術はディープラーニング音声認識処理、自然言語解析、処理。

審査評価

Hmcomm株式会社は、産総研で開発された音声認識技術を実用化し、音声認識に特化したAIプラットフォームによるソリューション・サービスを提供している。窓口やコールセンター等での対人業務における会話のテキスト化、無人の音声受付等が実現可能である。また、騒音環境下での音声認識が優れており、車両や工場・プラントの機械装置のAI異音検知による故障検知や予知への活用が可能である。今後、「音声ビッグデータ」のビジネスリソースとしての利活用への貢献が期待される。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第3回 JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社ZenmuTech

<https://www.zenmutech.com/>



設立年月日：2014年3月4日

所在地：東京都品川区西五反田2-8-1 五反田ファーストビル4F

代表者：田口 善一(代表取締役社長)

従業員数：23人

業種：セキュリティ分野

事業概要

- オープン・セキュリティ ソリューション「ZENMU」の開発・販売
 - ・秘密分散技術を基にした情報漏洩リスクをゼロにする次世代のインフラストラクチャ
 - ・情報を意味のないデータに変換した上で複数に分割(無意味化)し、分散管理
- シンクライアント用仮想USBデバイス統合管理ソフト「VUMS」の開発・販売
- Windows Embedded OS のカスタマイズ

審査評価

株式会社ZenmuTechは、暗号化技術と、分散技術を組み合わせた「秘密分散処理」により、情報の漏洩防止を可能にするソリューションやデバイスを提供している。データ生成時にデータをブロックに分割して、各々を暗号化させることと、暗号化されたブロックを複数の異なるデバイスに分散配置することにより、情報の漏洩を事実上不可能にしている。この秘密分散処理に基づいたソリューションは、近年頻発するサイバー攻撃に対しての強い防御手段となる、シン端末やIoTデバイスの一層の利用普及が可能となる。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第3回 JEITAベンチャー賞 受賞企業



PGV株式会社

<http://www.pgv.co.jp/>



設立年月日：2016年9月16日

所在地：東京都中央区日本橋2-15-5 PMO日本橋二丁目ビル 7階

代表者：柳澤 修(代表取締役社長)

従業員数：7人

業種：医療・健康分野

事業概要

PGV社製の「パッチ式脳波センサ」は、だれでも手軽に簡単に、装着感なく脳波を測ることができる。これまで計測が容易ではなかった脳波を身近なものにすることで、「脳のヘルスケアをご家庭」で実現する。さらに、脳情報のビッグデータを構築することで、医療から、ニューロマーケティング、注意喚起ビジネスまで、幅広い脳波ビジネスを展開する。

審査評価

PGV株式会社は、大阪大学で発明された微小信号処理技術とフレキシブルエレクトロニクス技術をベースに、パッチ式脳波センサの製造・販売および脳情報ビッグデータを活用した脳波ビジネスを提供している。PGV株式会社が手がける小型で無線計測可能なシート型脳波センサ(厚さ6mm、重さ24g)は、既存の大型特殊装置と同等レベルの計測精度を実現し、脳波計測を誰でも手軽に行える身近なものにして、医療・ヘルスケア・睡眠・注意力モニタリング・ニューロマーケティングなど、今後幅広い領域での発展が期待できる。よって、JEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。

第3回 JEITAベンチャー賞 受賞企業



株式会社フォルテ

<http://www.forte-inc.jp/>



設立年月日：2005年3月28日

所在地：青森県青森市古川3-22-3 古川ビル3階

代表者：葛西 純(代表取締役社長)

従業員数：14人

業種：AI・情報技術分野

事業概要

フォルテが取り扱う主な製品は、骨伝導ヘッドセット「VOCE-rable」、ナビガイド端末「ナビチャリ」及び移動体管理・作業員管理端末「FB シリーズ」。VOCE-rableは、耳穴を開放することで安全性を確保しながら音声を聞ける他、軽量かつ圧迫感が少ないため日常の様々なシーンで利用でき、今年中にノイズ除去機能やヘルスケア機能等の付加モデルを量産予定。ナビチャリは目的地までの最短距離を案内するだけでなく、設定した観光ルートに沿ってハンズフリーかつ多言語で観光情報を自動再生できるため、自転車観光やまち歩きに便利。FBシリーズは、温度・湿度等のセンサー情報や休憩・トラブル等のステータス情報を位置情報・時間とともにサーバーに蓄積でき、製品の在庫・稼働率管理や人手による作業の効率化に役立つ。

審査評価

株式会社フォルテは、骨伝導ヘッドセットなどによる騒音環境下等での音声ソリューション及び車両等の移動体や人の管理のための位置情報ソリューションを提供するIoT端末の開発を行なっている青森県に拠点を置くベンチャーである。地域拠点の特性を生かし、自治体や観光業者との連携により地域産業の振興につながるサービスの社会実装の実証に取り組んでおり、今後地方発からEXITを目指すベンチャーのロールモデルとしても期待される。よってJEITAベンチャー賞に相応しい企業と判断した。